

甘 楽の名を関東・全国へ 甘楽中生活躍

第53回群馬県中学校総合体育大会などの大会で甘楽中の生徒がそれぞれの目標に向かい、熱戦を繰り広げました。8月2日に役場会議室で行われた報告会では、上位大会へ出場する選手一人ひとりが茂原町長に意気込みを述べました。上位成績を収め、関東大会や全国大会へ出場を果たした生徒の活躍と感想を紹介します。



女子ハンドボール部

県中学校総体では春季大会に続いて準優勝を獲得し、関東大会へ出場しました。

関東大会(8月8～10日、東京都大田区)では、1回戦で塩山中(山梨県)を相手に健闘したものの、力強いプレーにリードされ、惜しくも敗退となりました。

倉林樹恵主将(3年)は「塩山中の堅い守備に阻まれ、勝つことはできませんでしたが、全員が力の限りプレーすることができました。今まで応援してくださった皆さんに感謝しています」と話してくれました。

陸上部

第64回全日本中学校通信陸上競技群馬県大会、県中学校総体で堀口花道くん(3年)と高橋雛乃さんが上位に入賞し、関東大会(8月8・9日、千葉県千葉市)および全国大会(8月18～21日、岡山県岡山市)へ出場しました。



高橋雛乃さん(2年) 共通女子1500m

通信陸上県大会の共通女子1500m(4分37秒11(予選では4分34秒33))で優勝、県中学校総体でも4分41秒90で優勝を果たしました。

関東大会では4分48秒75で15位、全国大会では4分40秒57で惜しくも決勝進出とはなりませんでしたが、全国の大舞台で健闘しました。

高橋さんは「関東全国ではベストを出せず悔しいです。来年は全国で戦えるような走りをしたいです。指導してくれた先生、応援してくれた方々に感謝の気持ちでいっぱいです」と話してくれました。

全 国 3 位 !! 男子3000m 堀口くん

堀口花道くん(3年) 共通男子 3000m・1500m

通信陸上県大会の共通男子3000m(8分47秒33)で優勝、同1500m(4分11秒61(予選では4分4秒16))で準優勝、県中学校総体では3000m(8分58秒24)・1500m(4分7秒11)で準優勝しました。

関東大会では3000m(9分4秒51)で準優勝。全国大会では1500m(4分7秒99)で決勝進出はならなかったものの、3000m(8分36秒29)で自己ベストを更新し、3位入賞という素晴らしい成績を収め、甘楽中・堀口の名を全国に轟かせました。

3000m決勝で驚異的なラストスパートを見せた堀口くんは「関東大会と全国大会では、自分の力を出し切って入賞することができました。これから駅伝などがあるので、次の目標に向かって練習を頑張ります」と満面の笑顔で話してくれました。



26年ぶり県新記録!! 三浦さん インターハイで3位



全国高校総体(東海インターハイ)の水泳競技(競泳)が8月17～20日に愛知県名古屋市の日本ガイシアリーナで開かれ、三浦玲央さん(福島・高崎高校2年)が男子100m背泳ぎ(56秒50)で26年ぶりに県新記録を達成、見事3位に入賞しました。三浦さんは前半から勢いよく、最後までスピードを緩めずに全国のライバルを振り切り、納得の泳ぎを見せました。また、同200m(2分3秒38)でも自己ベストを更新し、6位入賞を果たしました。

三浦さんは「全国のレベルの高いところで競えるようになった。次はさらに上を目指し、目標に向かって頑張ります」と話してくれました。JOCや国体などに向けて、練習を重ねる三浦さんのさらなる活躍が期待されます。

育 成合宿でデンマークへ 小幡さん

小幡みなみさん(甘楽中1年)は、ハンドボールのナショナルトレーニングアカデミー(NTA)欧州育成合宿の選手として、8月26日からデンマークで行われた合宿に参加しました(9月2日まで)。

NTAは、オリンピック出場やメダル獲得に向けた中長期的な強化計画で、ハンドボールの技術・人間力向上を目指した選手育成プログラム活動を行っています。小幡さんは昨年度からNTAのメンバーに選ばれ、2018年度も育成合宿(年6回予定)に参加し練習に励んでいます。今回の欧州育成合宿には、同メンバーのうち中学・高校生16人が派遣され、中学1年生は小幡さん1人です。

小幡さんは「貴重な経験をさせていただくことに感謝し、チームに貢献できるようたくさんのお話を吸収し、学んでいきたいです」と話してくれました。日本代表を目指し、多くの経験を積む小幡さんのさらなる飛躍が期待されます。



瀧澤さんの100歳を慶祝

瀧澤幸太郎さん(大正7年8月23日生まれ・福島)が100歳の誕生日を迎えられ、8月23日に茂原町長らが入居中のシニアライフ七日市を訪問し、慶祝状と祝金を手渡しました。

瀧澤さんは富岡市黒川のお生まれで、印刷機械の会社に勤め、建設工事関係などの仕事も経験されました。

瀧澤さんは7カ月ほど前から同施設に入居し、穏やかな毎日を過ごされています。この日は、隣接するショート・デイサービスセンターこまちのホールでお子さんや施設利用者、職員などから誕生日を祝福されました。

毎朝コーヒーを飲むのが好きという瀧澤さんに長寿の秘訣を伺うと、「好き嫌いなく食べることが良かったと思うが、周りの人にも恵まれました」と話され、集まった皆さんの前で得意のカラオケを披露してくれました。

瀧澤さん(右)と茂原町長



公益のために寄付し 紺綬褒章を受章 田村さん

田村 功さん(沖縄県石垣市)は町に多額の寄付をされた功績により国から紺綬褒章を受章され、8月6日に茂原町長から褒章と章記が伝達されました。

田村さんは平成29年9月、健康増進および福祉の向上のために役立ててもらいたいと町に1,000万円を寄付されました。



褒章と章記の伝達を受ける田村さん(右)

幽玄な世界 楽山園で薪能



能「羽衣」

宝生流かんら薪能が8月19日、国指定名勝「楽山園」の特設舞台で上演されました。20回記念公演の今回は、宝生和英さんらの能「羽衣」や辰巳満次郎さんの舞囃子「高砂」、野村萬斎さんの狂言「雷」など豪華でめでたい演目となりました。

500人の観客は、秋の気配を感じる夜の楽山園で奥深い趣のある世界を堪能しました。



舞囃子「高砂」

青少年を守る母の日大会



明るい社会の実現に向け、あいさつする中野会長(中央)

甘楽町更生保護女性会(中野恵理子会長)の公開ケース研究会(甘楽町の青少年を守る母の日大会)が7月24日、町公民館で開かれました。会員と関係者約90人が、明るい社会をめざす地域の見守り活動を確認しました。

研究会では、少年院在院中の少年・少女たちが「学校の先生」をテーマに作成した映像作品を鑑賞し、各地区の代表者は社会に帰った少年・少女たちが立ち直るために地域でできることなどを発表しました。

また、上毛新聞社の子安 悟さんを講師に迎え、「青少年問題と新聞」の講演が行われました。参加者は新聞をはじめとするさまざまな情報源から世の中の変化や流れを把握し、活動することの重要性を認識しました。中野会長は「大勢の皆さんと研究会ができ感謝しています。今回の内容をいかして引き続き活動していきたいです」と話されました。

広 報モニターを紹介します

町と町民を結ぶ役割を担っている広報かんらは、地域に根付いた紙面づくりを目指しています。より身近で親しまれ、皆に読まれる紙面作りに協力いただく広報モニターが8月7日、決定しましたので紹介します。

任期は2年間で広報かんらやおしらせ版に対して、意見や要望をいただき、取材にもご協力いただきます。写真右より布施和子さん(小幡)、中野静代さん(秋畑)、松本ちはるさん(福島)、下山明美さん(新屋)。()内は担当地区。



お はようウォーク

甘楽町体育協会新屋支部(堀口康孝支部長)主催の「おはようウォーク」が7月22日、新屋小学校を発着とし、新屋地区内で開かれました。

参加した55人は早朝のすがすがしい空気を吸って、地域の文化財を巡りながら心地よい汗を流しました。

に ぎやかに 庭谷地区の夏祭り

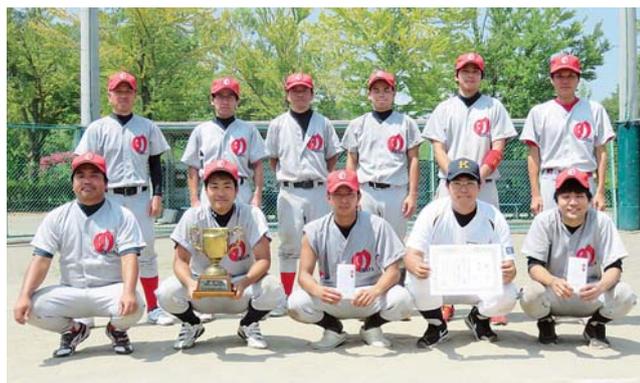
庭生会(吉田 貢代表)主催の第11回夏休み子どもフェスティバルが8月5日、庭谷公会堂で開かれました。

今回は、地元子どもたちに加えて、おたっしや会「庭谷サロン」の皆さんも参加し、住民約70人が七夕飾りやバーベキューなどで恒例の夏祭りを楽しみました。



くじ引きを楽しむ子どもたち

小 幡地区が制す 地区対抗野球大会



第35回甘楽町地区対抗野球大会が8月5日、甘楽野球場で開かれました。熱戦を制したのは、小幡地区でした。結果は次のとおりです。(敬称略)

◆成績 優勝 小幡地区(左写真)
準優勝 福島地区
第3位 新屋地区

☆個人賞 最優秀選手賞 富岡慎也(小幡地区)
殊勲賞 富澤友哉(小幡地区)
優秀選手賞 加藤慶貴(福島地区)
敢闘賞 浦辺貴文(新屋地区)

長 寿の里・筋トレ教室開始



住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指す「長寿の里・秋畑協議体」(黛 哲夫代表)では、7月31日から毎週火曜日、秋畑地域交流センターで筋力トレーニング教室を開いています。これは、同協議体が住民の意見を取り入れ、高齢者も無理なくできる運動教室を始めたもので、構成員など地域のボランティアが世話人となり教室を運営しています。

初回には28人が集まり、ストレッチと筋力トレーニング体操を60分間仲間と一緒に行いました。参加者は「普段使わない筋肉を動かしたので疲れたが、自宅の近くでできるので通いたいと思う」と話し、世話人の田村清子さん(秋畑)も「地域の皆さんに協力してもらいながら、自分のためにも教室を続けたい」と話しました。

笑 顔で触れ合う バルーンアート

新屋地区生涯学習推進協議会(黒澤 篤会長)と新屋地区子育て連(山本かおり会長)は共催で8月3日、夏休み・親子ふれあい企画シルシルセミナー「バルーンアート教室」を新屋小体育館で開催しました。

新屋小児童と保護者約50人がカラフルな風船を使ったバルーンアートを体験しました。参加した親子は風船が割れないように気をつけながら、協力して魚のバルーンアートを完成させ、笑顔あふれる時間を過ごしました。

岸 七聖くん(新屋小3年)は「ねじるところが難しかったけれど、やさしく教えてもらえて楽しくできた。またやってみたい」と話してくれました。



カラフルな魚のバルーンを完成させた新屋小児童の皆さん

迎 え盆に灯る 宝積寺万燈会



宝積寺(轟・西有孝裕住職)で迎え盆の日の8月13日、万燈会まんとうえが開かれました。雨が心配される中、ボランティアの皆さんの協力により、行灯やガラス・コップの灯籠など約4000基に明かりが灯されました。今年は、同寺のマスコットキャラクター「たからくん」が表現され、境内に幻想的な世界が広がりました。

本堂では東日本大震災・西日本豪雨災害の犠牲者の法要や琉球太鼓の奉納が行われました。

また、被災地の応援として、子どもから大人までが描いた絵画やメッセージ約200点も行灯・灯籠に貼られ、展示されました。